

令和2年度 観光部会における検討成果の報告

1 概要

■ 周遊観光モデルを構築する上での**基本的な構造**は下表のとおり。

事業全体の最終目的（2022年度末時点で達成を目指す）：**観光で地域が潤う仕組みの構築** = **周遊観光モデルの構築** × **清須ならではの特産品開発（観光消費の拡大）**

コンセプト	他エリアとの差別化を図る世界観として、コンセプトを設定し、周遊してもらう動機や観光客に持ち帰ってほしい余韻を言語化（情報発信時にキャッチコピーとして活用を想定）	
↑		
ルート・ストーリー	徒歩圏エリアごとにコンセプトを体現した周遊ルート・ストーリーを構築 ※ 周遊スポットが市内に複数点在し、原則予約なく見学可能なスポットで構成し、2021年度の情報発信事業で実装（観光情報誌、観光協会HP・動画）	オプションツール
		【要素①】周遊動機：MAP作製、フォトコンテスト（フォトスポットの発掘・周遊）等：詳細は次年度に検討 【要素②】スタンプラリー（ルート内主要スポット＋美術館＋市内の工場など）

コンセプト きよスポット 英気が充実	=	北部 1 清洲城境界（清洲城・清洲公園、上島神明社・御園神明社 等） 2 あいち朝日遺跡ミュージアム / 3 日吉神社 (a) 総見院 / (b) 正覚寺（今川塚） (c) 清須城下町遺跡の遺構（1 外堀跡、2 虎口跡 等）	南部 1 西枇杷島問屋記念館 / 2 飴茶庵 3 みずとぴあ庄内(3-1)・庄内川堤防(3-2) (a) ミドリヤ / (b) 美濃路の閑所（路地裏） (c) 新川ポケットパーク	オプションツール 必ずしも歴史的なストーリーに感興を覚えない方も取りこぼさない視点でオプションを構築し、清須周遊の満足感の底上げを図る。 【令和3年度以降、実装予定】 ↓ (1) 情報発信時に遊び心のある仕掛けを施す ① 散策マップの作製：現代地図に古地図・想像図を重ねて、歴史探訪を演出するマップ ② 写真の撮り方やフォトスポットの紹介 (2) スタンプラリー企画 ・清洲城 ・あいち朝日遺跡ミュージアム ・麒麟ビール名古屋工場 ・清須市はるひ美術館 + ・市内協力工場・工房
		×	×	
		ストーリー（要旨のみ） 天下へはばたく登竜門 ■ 戦乱時代の清須には多くの人々が夢と希望を持って集い、この地方の中心地となった。 ■ 織田信長公、豊臣秀吉公、徳川家康公（三英傑）も清須で英気を養い、自分を信じて決断し、道を切り開いた。 【信長公】桶狭間出陣の地（天下統一の出发点） 【秀吉公】信長公の草履温めエピソード・清須会議（出世物語の序章） 【家康公】関ヶ原東軍集結の地（天下分け目の戦いの前日譚） ■ 平和で豊かな日常を願い、そして時には戦いに勝つことを願った神社をはじめ、あなたの英気が充実するオススメの“スポット”あり。	市場繁栄の秘密 ■ 江戸時代の尾張国は、庄内川の北側に穀倉地帯、南側に名古屋城下町が展開。家康公が開いた下小田井市は、その境界に位置し、日本三大青物市のひとつとして発展。 ■ 松尾芭蕉も訪れたほどの景勝地だったため、訪れた文化人との交流で問屋商人たちは教養を育み、豊かな財力を活用して山車祭りを始めた。 ■ 市場がなくなった今でも、名古屋との“ちょうどよい”位置関係でとっておきの景色あり。 ■ 庄内川堤防から眺めは、オススメスポットで、時に夕焼けは、英気の充実スポット。 ■ 時間に余裕があれば、美濃路の路地裏散策も推奨。	



2 コンセプト

- これまで観光部会での協議を通じて、コンセプトの取りまとめを行ってきた。コンセプトの位置づけや活用方法の整理は以下のとおり。

位置づけ	他エリアとの差別化を図る世界観として、コンセプトを設定し、周遊してもらう動機や観光客に持ち帰ってほしい余韻を言語化
活用の想定	情報発信時（リニューアル後の観光協会ホームページ、動画、観光情報冊子）のキャッチコピーとして活用を想定

- 取りまとめの方針

(1) 初期イメージの作成
観光部会でのグループ発表の内容等を基にして、事務局で原案を作成
原案：英気がアップ！清須散策 ～ 土地の記憶に勇気をもらえる場所 ～



(2) 委員意見の募集【第3回会議（書面照会方式）】
委員へ原案を示し、修正意見を募集



(3) 最終稿への編集【事務局】

① 委員意見から最終選別に残すフレーズ素材を選別
(a) 英気みなぎる 清須の旅 / **(b) 大地の記憶に勇気を授かる場所**
(c) いにしえからの贈り物 / **(d) ロマン**

② 印象に残る短いフレーズに再編集（最終候補）
 ⇒ 右図のようなコンテンツをどのように組み合わせても、清須の魅力としてPRできる世界観（余韻）の言語化

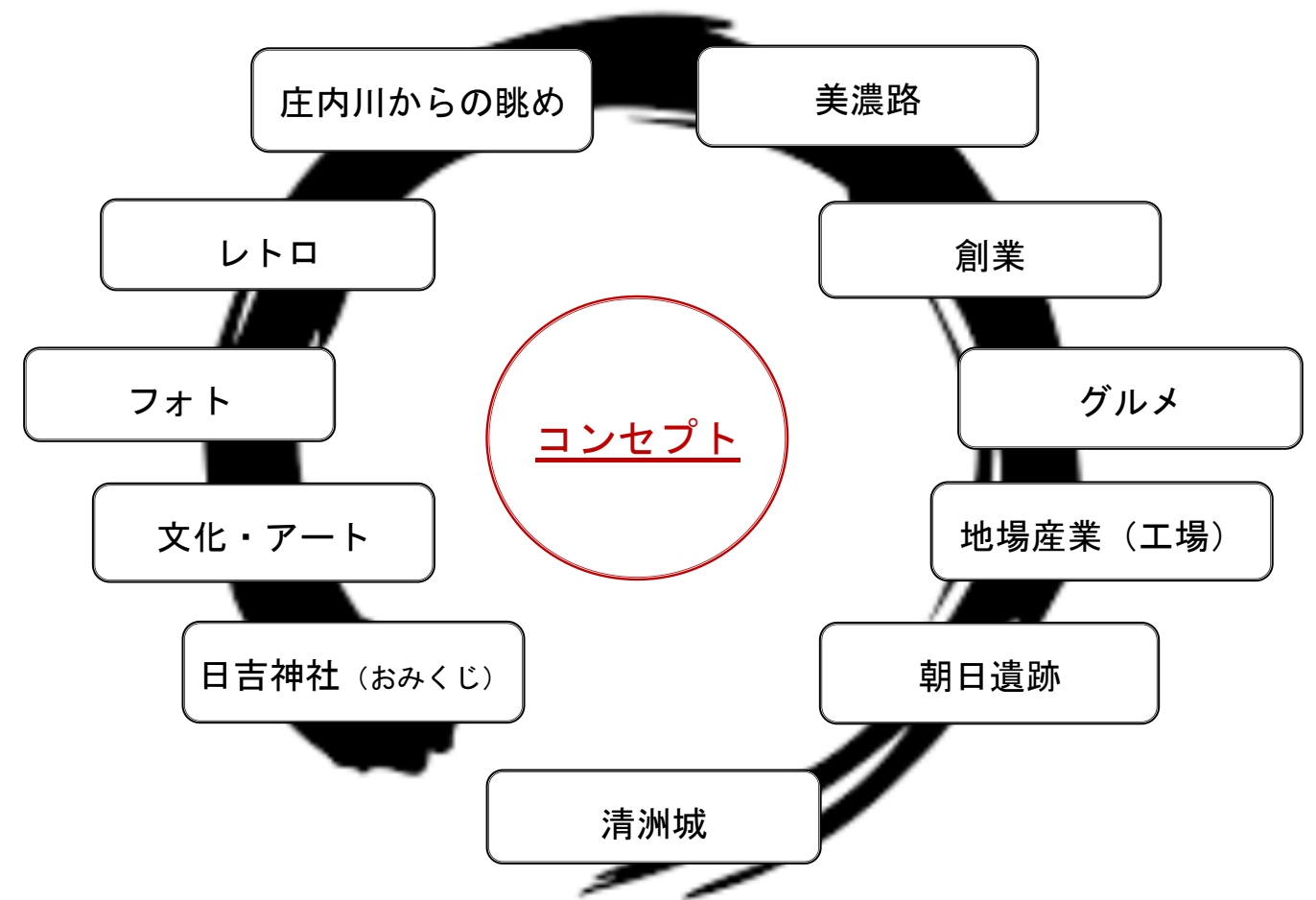
↓

(a) 英気充実 きよスポット
 英気をリフレッシュできるスポットとして、清須での（休日の）過ごし方をPRすることができる。

(b) 大地の記憶に 勇気さずかる
 往時の街並みが残っていない現状を、埋没したストーリーとして生かす趣旨でPRすることができる。

(c) いにしえからの 祈り
 古来、人々の営みが続いた清須には、安全で豊かな暮らしを願う祈りの歴史があり、それは今も祈りの場所であることをPRすることができる。（日吉神社等）

(d) 清須浪漫派 旅文庫
 市内には、歴史的な地域資源だけでなく、昭和レトロな生活空間も点在する。両親・祖父母世代のまちの風景も物語的な魅力としてPRすることができる。



(a) 英気充実 きよスポット

[選定理由]

- ルート・ストーリーとの親和性が最も高いため。
- 歴史的な地域資源の強みを示唆するに留まらない包括性を持ちつつ、観光客に提供したい価値も表現できているため。

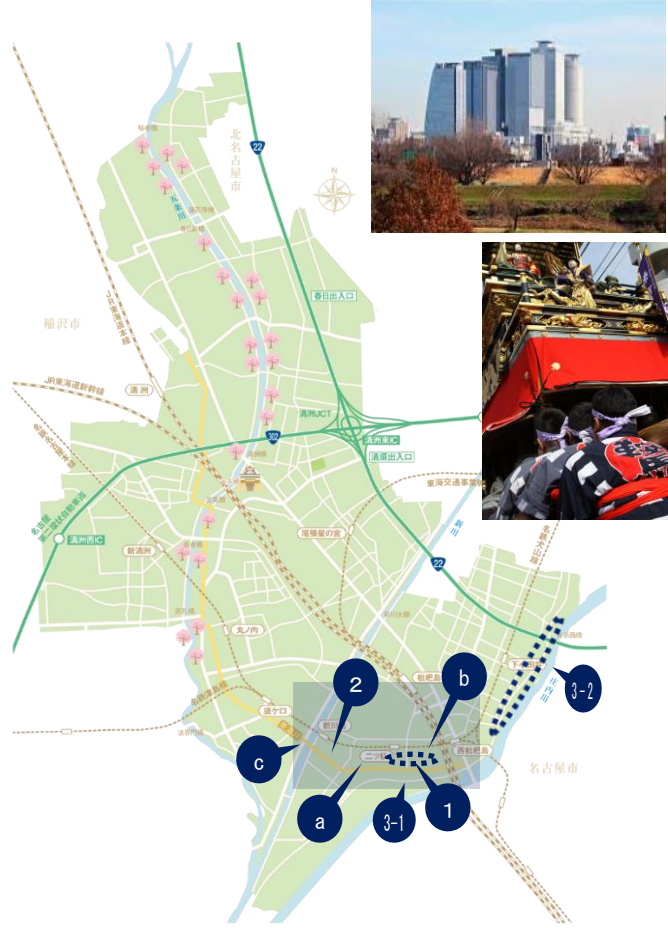

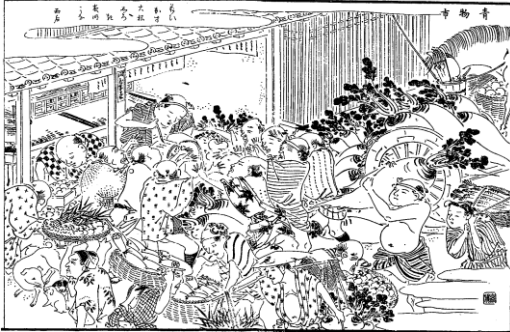

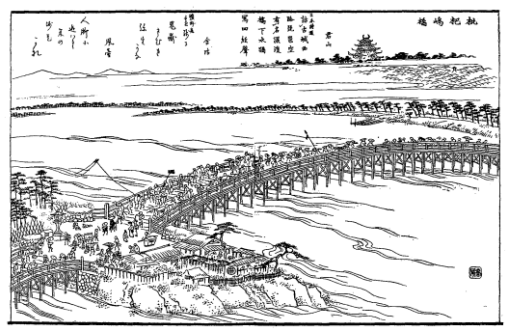
3 ルート・ストーリー

■ 徒歩圏エリアごとにコンセプトを体現した周遊ルート・ストーリーを構築するため、周遊スポットが市内に複数点在し、原則予約なく見学可能なスポットで構成することとして、2ルートを設定。

「天下にはばたく登竜門」編													
立ち寄りスポット	メインスポット						深掘りスポット						
		<p>1 清洲城界隈（清洲城・清洲公園・上島神明社・御園神明社等）</p> <p>信長公の居城である清洲城や歴代城主の崇敬を集めた清洲三社で、往時を偲ぶことができる。</p> <p>2 あいち朝日遺跡ミュージアム</p> <p>朝日遺跡が、弥生時代における東海地方の政治・経済・文化拠点であったことが分かる施設。</p> <p>3 日吉神社</p> <p>女性に人気のあるオリジナル恋みくじは SNS 映えする。その他、“吐き出し皿”等、ここならではの体験もできる。</p>						<p>(a) 総見院</p> <p>信長公の戒名に由来する寺院で、本能寺から回収された信長公の兜（焼け兜）が伝わる。（※兜の見学は要予約）</p> <p>(b) 正覚寺</p> <p>今川塚があり、「桶狭間の勝利」を改めて実感できる。</p> <p>(c) 清須城下町遺跡の遺構</p> <p>外堀跡(c-1)や虎口跡(c-2)などの痕跡は、この街が秩序の要として、外敵に備えていたことを実感できる。</p>					
モデルコース	(鉄道駅)	⇒	清洲城界隈 (清洲公園駐車場)	⇒	あいち朝日遺跡 ミュージアム	⇒	日吉神社	⇒	総見院 正覚寺	⇒	清須城下町遺跡 の痕跡 a-1 a-2	⇒	清洲公園駐車場 (鉄道駅)
ストーリー	<p>■ 弥生時代と戦国時代という大きな戦乱時代に、清須には多くの人々が夢と希望を持って集い、この地方の中心地となっていました。</p> <p>■ ここ清須で決断し、未来を切り開いた人々には、織田信長公、豊臣秀吉公、徳川家康公（三英傑）から、名も知られていない人々まで限りがありません。</p> <p>■ とりわけ清洲城は、三英傑の立身出世の舞台ですが、彼らもここで英気を養い、自分を信じて決断したからこそ、道を切り開き、日本の歴史をも動かしたのです。</p> <p>【信長公】桶狭間出陣の地（天下統一の出発点） / 【秀吉公】信長公の草履温めエピソード・清須会議（出世物語の序章） / 【家康公】関ヶ原東軍集結の地（天下分け目の戦いの前日譚）</p> <p>■ 外敵と向き合いながら、平和で豊かな日常を願い、そして時には戦いに勝つことを願った神社をはじめ、あなたの英気が充実するオススメの“スポット”をご紹介します。</p>												

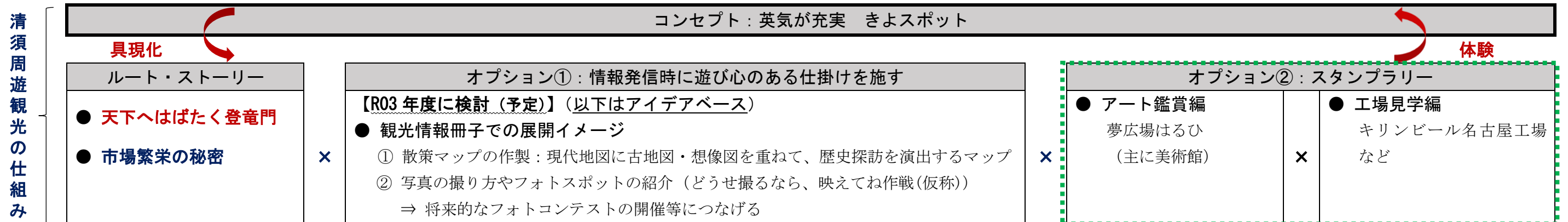


「市場繁栄の秘密」編

立ち寄りスポット	メインスポット	深掘りスポット													
モデルコース	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>鉄道駅</td> <td>⇒</td> <td>西枇杷島問屋記念館</td> <td>⇒</td> <td>美濃路の閑所</td> <td>⇒</td> <td>ミドリヤ</td> <td>⇒</td> <td>新川ポケットパーク</td> <td>⇒</td> <td>庄内川堤防 又は みずとぴあ庄内</td> <td>⇒</td> <td>鉄道駅</td> </tr> </table>	鉄道駅		⇒	西枇杷島問屋記念館	⇒	美濃路の閑所	⇒	ミドリヤ	⇒	新川ポケットパーク	⇒	庄内川堤防 又は みずとぴあ庄内	⇒	鉄道駅
鉄道駅	⇒	西枇杷島問屋記念館	⇒	美濃路の閑所	⇒	ミドリヤ	⇒	新川ポケットパーク	⇒	庄内川堤防 又は みずとぴあ庄内	⇒	鉄道駅			
ストーリー	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の尾張国は、庄内川を隔てて北側に穀倉地帯が広がり、南側は名古屋城下町へと続いていました。その境界に位置するこの場所が“ちょうどよかった”なのでしょう。家康公が美濃路に開設した下小田井市は、日本三大青物市のひとつとして発展しました。 かつて庄内川の枇杷島橋一帯は、桜や萩の名所として松尾芭蕉も訪れたほどの景勝地でした。 景勝地に集う文化人との交流で教養を育んだ問屋商人たちが、豊かな財力を背景に地元の天王祭を今日に伝わる山車祭りへと発展させたのです。 市場がなくなった今でも、名古屋との“ちょうどよい”位置関係でとっておきの景色があります。 庄内川堤防から眺めは、名駅高層ビル群を眺めるもよし、背景のない自撮りをするもよしのオススメスポットです。また、ここから眺める夕焼けは、あなたの普段の頑張りに寄り添ってくれますよ。 時間に余裕があれば、美濃路の路地裏の風情にもご注目ください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>			<p>【出典】尾張名所図会（左から「下小田井市」「庄内川の花見」「枇杷島橋」の描写）</p>											

4 オプションツール

- ルートとの掛け合わせで、誰もがコンセプトを体験できるよう、オプションツールを設定し、次年度の情報発信力構築時などへ反映することで、清須周遊の満足感を底上げする。
- コンセプトの実現には、必ずしも歴史的なストーリーに興味を覚えない方を取りこぼさない視点が必要。そこで、“とっておきの脇道”との組み合わせを提案することで、清須観光を補強したい。



2 スタンプラリー

- 下記で概要を整理したい。

スキーム(案)	前提	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の見学(体験)型施設を軸として、新規工場見学スポットを入替式(※)で加える。 ※ 工場見学は受け入れ条件が、事業所ごとに異なり、情報冊子への掲載に馴染まない。そこで、毎回内容を入れ替えられるチラシ(台紙)形式で周遊スタンプラリーを企画することが妥当。 																									
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期間を決めて、毎年定期的にスタンプラリーを企画立案する。(参加者特典を用意できると望ましい。) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">頻度・時期</td> <td colspan="2">年1~2回(対象期間を決めて実施。概ね1~2か月間)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">周遊</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">の</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">と</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">固</td> <td>① 清洲城 / ② あいち朝日遺跡ミュージアム (メインルート・ストーリー)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アート鑑賞編</td> <td style="text-align: center;">工場見学編</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ス</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ポ</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ッ</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">定</td> <td>③ 夢広場はるひ(美術館)</td> <td>④ キリンビール名古屋工場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">otte</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">お</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">き</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">入</td> <td>—</td> <td>⑤ ****工房</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>⑥ +++++工場 (見学可能な工場に入れ替え)</td> </tr> </table>	頻度・時期		年1~2回(対象期間を決めて実施。概ね1~2か月間)		周遊	の	と	固	① 清洲城 / ② あいち朝日遺跡ミュージアム (メインルート・ストーリー)	アート鑑賞編	工場見学編	ス	ポ	ッ	定	③ 夢広場はるひ(美術館)	④ キリンビール名古屋工場	otte	お	き	入	—	⑤ ****工房	—	⑥ +++++工場 (見学可能な工場に入れ替え)
	頻度・時期		年1~2回(対象期間を決めて実施。概ね1~2か月間)																								
周遊	の	と	固	① 清洲城 / ② あいち朝日遺跡ミュージアム (メインルート・ストーリー)																							
				アート鑑賞編	工場見学編																						
	ス	ポ	ッ	定	③ 夢広場はるひ(美術館)	④ キリンビール名古屋工場																					
otte					お	き	入	—	⑤ ****工房																		
	—	⑥ +++++工場 (見学可能な工場に入れ替え)																									
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の要素を盛り込めないか関係者(対象施設の管理者)と協議し、実現できるものは積極的に採用。 ① 参加賞(特典)への景品の贈呈を検討。 ② (将来的には)「重ね押しスタンプ」などのアートの要素のほか、謎解き、フォトコンテストなどの諸要素を盛り込めないか検討。 ・ <u>対象施設として受け入れ要請を行う工場見学先については、交渉前段階のため、本資料への事業者名の記載を省略した。</u> (キリンビール名古屋工場とは、既にスタンプラリーの連携実績があり、今後とも継続的に協力関係を維持する予定) 																										

【イメージ】